



## 経営陣の方々

# これが夏季手当に対する現場の「生の声」です

- 業務量が増える一方で給料は上がりず、社員ばかり身を削っている。何かにつけてマイナスな面を強調し、不安ばかり煽る。ボーナスを支払えない、減額するのであれば経営陣の報酬を削ってでもボーナスを出せば良い。経営陣も身を削って、現場の社員の気持ちに寄り添うべきだ。
- 黒字になれば社員に還元するのは当たり前。経営責任を取らず社員にばかり負担をかけるのは納得できない。
- これまで我慢を強いられてきた。労働密度が濃くなり、要員不足の中、我々の努力で黒字を実現した。その苦勞に報いる回答を！
- 会社に対して将来性や魅力がないと言って退職していく若手が多くいる。奮闘している若手のためにも満額回答を求める。
- これまで「先行き不透明」「赤字」と会社から言われ、コロナ以前から我慢を強いられた。一方的な施策実施に始まり、黒字達成のために増収、コストダウン等を行う社員の努力があって黒字化を実現出来た。満額回答以外考えられない。
- ゴールデンウィークも好調で、通勤通学のお客さまも9割近く戻ってきたのだから、今までの我慢と現場のこれまでの努力にしっかりと報いて頂きたい。

## 現場の声を聞いて！

「社員」あつての

JR東日本グループの持続的成長と発展であり、

「満額回答」という正当な評価で

社員を大事にする姿勢を見せる時だ！